

NATO首脳会合「相互運用性フォーマット会合（国防相級）」における 我が国代表の発言（7月9日）

- 「相互運用性プラットフォーム」会合（国防相級）に参加できることを喜ばしく思います。
- 現在の世界では、国境を越える脅威が増大しているほか、ユーラシア大陸の両端において現状変更の試みが見られます。世界の安全保障環境は厳しさを増しており、もはやどの国も一国で自らの平和と安全を維持することはできない状況にあります。このような状況において、日本としては、各国・機関と連携しながら、国際社会の平和と安定にこれまで以上に積極的に寄与していく考えです。その上では、「必然のパートナー」であるNATOとの協力を重視しています。IPフォーマットの数々の取組みは、この協力をファシリテートするものとして、大いに歓迎しています。
- 日本は、本フォーマットに基づき、各種会合への参加や訓練・演習等へ参加してきており、その対象分野も拡大させています。具体的には、まず、海洋安全保障分野における協力として、NATOオーシャン・シールド作戦参加部隊との間で、ソマリア沖においてこれまでに2度共同演習を実施したほか、本年5月には、NATO海上作戦法律セミナーに参加しました。また、サイバー分野では、「ロック・シールド」及び「サイバー・コアリション」演習にオブザーバー参加し、HA/DR分野では、昨年、ウクライナで開催されたHA/DR演習にオブザーバー参加しました。
- これらの各種会合や訓練・演習等への参加は、日本とNATO加盟国及びパートナー国との相互運用性を向上させるとともに、お互いの教訓を共有していく上で有益です。また、2016年－2017年における危機管理及び相互運用性に関するIPロードマップの策定等、NATO加盟国とパートナー国の相互運用性を向上させるNATOの取組を評価しています。今後とも日本は積極的に参加していく考えです。
- 海洋安全保障、テロ、ハイブリッド戦といった国際社会共通の課題に対処するNATOが、本フォーマットを更に進化させ、関係国の連携を強化しながらパートナー国との相互運用性の向上を図っていくことは、世界の平和と安定にもつながるものと考えます。

●日本は、引き続きあらゆる分野においてNATOとの具体的協力を深化させていく所存です。

(了)